

研究テーマ：環境
(水+ゴミ)



第1章 「eco-ist な地球人をめざして」構想

● M e m b e r

| | | |
|----|----|---------------|
| 新保 | 大志 | 大潟町総務課 |
| 藤田 | 信人 | 糸魚川市都市整備課 |
| 田辺 | 栄子 | 松代町総務課 |
| 金子 | 良仁 | 頸城村税務課 |
| 宮尾 | 広幸 | 中郷村総務課 |
| 山岸 | 由尚 | 青海町総務課 |
| 宮下 | 修一 | 日本曹達(株)工薬一課 |
| 小竹 | 昭彦 | 糸魚川農地事務所計画指導課 |



アドバイザー
上越市創造行政研究所
主任研究員 池田 浩

「eco-istな地球人をめざして」構想の概要

第 章 上越地域22市町村の生活環境の現状

ゴミ(廃棄物)と水(自然)を取り巻く背景と現状(世界と日本)

「大量生産・大量消費・大量廃棄」の社会

「循環型経済社会」へ
社会構造の転換の要請、流れ

【着目点】

- ・法制度の整備(循環型社会形成推進基本法)
- ・ライフスタイル、ビジネス環境の変化
- ・環境意識の高まり(各種アンケート結果、NPOの出現)
- ・スローライフ、癒しへの注目
- ・「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へ

上越地域の現状と課題

廃棄物(ゴミ)

1. 廃棄物処理の状況
 - ・排出量と処理コストの増加
 - ・ゴミ分別の定着
 - ・不法投棄の増加
 - ・ゴミ処理施設の逼迫

(良い状況・望ましい事項)

- ・原材料への再利用
- ・分別意識の高揚
- ・先進的なクリーンセンター

2. 廃棄物に関する地域の取組みと課題

- ・3Rに向けた地域の取組み
- ・廃棄物対策における問題点

(悪い状況・良くない事項)

- ・減らないポイ捨て
- ・不法投棄の増加
- ・モラルの低さ
- ・リサイクル率の低さ

水資源

1. 地球温暖化における自然環境への影響
 - ・積雪量の減少
 - ・地盤沈下の進行
2. 地域の水域と水質の変化
 - ・関川水系と姫川水系の水域
 - ・河川の水質
 - ・下水道普及率の伸び悩み
3. 森林保全の必要性

(良い状況・望ましい事項)

- ・自然豊か
- ・棚田を守る会などボランティア活動の活発化
- ・日本有数の清流、姫川

(悪い状況・良くない事項)

- ・三面張りの河川
- ・愛着の無い川、関川
- ・下水道の整備の遅れ

これからの生活を考えるための前提条件

『補完性の原理』にもとづき市民・行政・民間が適切な役割分担のもとに地域の将来を考え、その実現に向けて協力していくこと

上越地域22市町村が広域的に取組むべき検討課題であること

2015年を目標とし、現状にとらわれない自由な発想に基づくこと

第 章 私たちの住む地域への願い(ビジョン)



一滴一滴が集まり1本の川になる。田と畑を潤わし、そこに住む人々の心も潤わせる。最後に海の注ぎいつの日か、また川へと戻る。

目標までの関係と体系図

1. 水に対する人々の想い
 - ・人と川のつながり
 - ・上流地域と中・下流地域のありかた
2. ゴミに対する人々の想い
 - ・生産者の考えと消費者の実情
 - ・発生するゴミの抑え方、始末の仕方
3. 目標までの体系図

基本理念(願い)

「いのちの源である緑と水を育む、ふるさと(上越地域)にしたい」

基本的な視点...生活レベル

都市(社会)...中心都市(上越市)を核とした農・商・工の融合型都市をめざし、自然と共生できる共生社連を目指す。
経済...循環持続型経済を目指す。

「森林回復・拡大」型

基本的目標...目指すべき姿

1. 自然について
 - ・森林を守り、地下水を涵養すること
2. 人類について
 - ・環境に関心を持ち、環境を良くするための意識の向上
 - ・リサイクル可能な、自然環境に負荷の少ない製品の推奨
3. 産業について
 - ・自然の資源の無駄使いをやめ、資源を大切にすること
 - ・自然に返りやすく製品化すること

第 章 今後の方向性と具体的施策(シナリオ)

キーワード1: 緑の価値を見直そう

イメージカラー: 森林の「緑」

- 【目的】 森林の保全と自然環境の保護
【課題】 森林保全のあり方
【施策】 森林の保全と拡大の為に
- (1) 地域のみどりを守る取組
 - ・ボランティア、NPOの育成
 - ・環境税の導入による自然保護
 - ・森林の里親制度
 - (2) 地域のみどりを生かす取組
 - ・間伐材利用による利益の向上
 - ・木質バイオマスとしての利用
 - (3) 地域のみどりを広げる取組
 - ・地域ごとに特色ある植樹

キーワード2: 環境教育を通じて、環境への意識とモラルを向上しよう

イメージカラー: ハート(心)の「赤」

- 【目的】 学校や地域からモラルの向上を目指す
【課題】 環境教育をどのように推し進めるか
【施策】 環境教育のあり方
- (1) 地域における環境教育のあり方
 - ・公共施設を利用した環境教育
 - ・NPOやその他諸団体の環境教育
 - ・ピオトープに見る環境教育の流れ
 - (2) 生活の中から意識改革
 - ・できることからひとつずつ
 - (3) 環境教育の推進方法
 - ・環境教育(学習)の継続
 - ・行政のサポート
 - ・人材の育成と有資格者等の活動環境の整備

キーワード3: 水に親しみ、水を有効に使おう

イメージカラー: 水の「青」

- 【目的】 水に対する意識の向上を目指す
【課題】 水に対する意識改革
【施策】 水を有効に使うために
- (1) 水に親しむ
 - ・イベントの実施
 - ・水辺環境の整備
 - (2) 水の有効利用
 - ・雨水の利用
 - ・生活排水の有効利用
 - (3) 水の安定的確保(量の確保)
 - ・流出抑制
 - ・使用量の抑制
 - (4) 良好な水質の確保(質の確保)
 - ・下水道の整備

キーワード4: 資源を有効に使おう

イメージカラー: 肥料化の「茶」

- 【目的】 資源の再利用、有効活用を目指す
【課題】 出口対策から入口対策への転換が必要
【施策】 資源を有効に生かすために
- (1) 廃棄物の処理と再活用に合わせた協力体制
 - ・生ごみの再活用
 - ・ビンペットボトルのリターナブル化
 - ・ゼロエミッション化
 - (2) 新たな可能性を導く
 - ・「やらなければいけない」から「やってよかった」へ
 - (3) 新たなアクションプラン
 - ・エコポイント制度
 - ・ポイントをエコマネーに引き換え
- ・住民意識の高揚
- ・処理費の軽減
- ・資源循環の活発化

第 章 今後の課題・総括

今後の課題とまとめ

【課題】

1. 使う人(買う人)のモラルを高めること
2. 作る人のモラルは、使う人々が育て育む
3. ハード(技術)的対処から、ハード(心)的対応へ

【まとめ】

今まで、廃棄物(ゴミ)と自然(水)は我々にとって非常に身近な存在であるがゆえにないがしろにされてきた。これからは、我々が便利さと引替えに忘れてしまっていた「ごく当たり前」の事を「ごく当たり前」に実践することによって、我々の住む上越地域の環境が少しでも良くなればと願う。

目 次

| | | |
|-----------|--------------------------------|------|
| 1 | 上越地域 2 2 市町村と生活環境の現状 | - 10 |
| 1 - 1 | ゴミ(廃棄物)と水(自然)を取り巻く背景と現状(世界と日本) | - 10 |
| 1 - 1 - 1 | 深刻化する環境問題 | - 10 |
| 1 - 1 - 2 | 新たな価値観とその対応 | - 13 |
| 1 - 2 | 上越地域の現状と課題 | - 16 |
| 1 - 2 - 1 | ゴミ(廃棄物) | - 16 |
| 1 - 2 - 2 | 水環境(自然) | - 22 |
| 2 | 私たちの住む地域への願い(ビジョン) | - 27 |
| 2 - 1 | 目標までの関係と体系図 | - 27 |
| 2 - 1 - 1 | 水に対する人々の思い | - 27 |
| 2 - 1 - 2 | ゴミに対する人々の思い | - 28 |
| 2 - 1 - 3 | 目標までの体系図 | - 28 |
| 2 - 2 | 基本理念 | - 29 |
| 2 - 3 | 基本的な視点(生活レベル) | - 30 |
| 2 - 3 - 1 | 上越地域の都市(社会)の将来 | - 30 |
| 2 - 3 - 2 | 上越地域の経済の将来 | - 31 |
| 2 - 3 - 3 | 上越地域の目指すべき将来像 | - 31 |
| 2 - 4 | 基本的目標(目指すべき姿) | - 32 |
| 2 - 4 - 1 | 自然 | - 32 |
| 2 - 4 - 2 | 人類 | - 32 |
| 2 - 4 - 3 | 産業 | - 32 |
| 3 | 今後の方向性と施策、その効果 | - 33 |
| 3 - 1 | 緑の価値を見直そう | - 33 |
| 3 - 1 - 1 | 〔目的〕森林の保全と自然環境の保護 | - 33 |
| 3 - 1 - 2 | 〔課題〕森林保全のあり方 | - 33 |
| 3 - 1 - 3 | 〔施策〕森林の保全と拡大の為に | - 34 |
| 3 - 2 | 環境教育を通じて、環境への意識とモラルを向上しよう | - 38 |
| 3 - 2 - 1 | 〔目的〕学校や地域からモラルの向上を目指す | - 38 |

| | | |
|-----------|------------------------|------|
| 3 - 2 - 2 | 〔課題〕環境教育をどのように推し進めるか | - 38 |
| 3 - 2 - 3 | 〔施策〕環境教育のあり方 | - 38 |
| 3 - 3 | 水に親しみ、水を有効に使おう | - 43 |
| 3 - 3 - 1 | 〔目的〕水に対する意識の向上を目指す | - 43 |
| 3 - 3 - 2 | 〔課題〕水に対する意識改革 | - 43 |
| 3 - 3 - 3 | 〔施策〕水を有効に使うために | - 43 |
| 3 - 4 | 資源を有効に使おう | - 49 |
| 3 - 4 - 1 | 〔目的〕資源の再利用、有効活用を目指す | - 49 |
| 3 - 4 - 2 | 〔課題〕出口対策から入口対策への転換が必要 | - 49 |
| 3 - 4 - 3 | 〔施策〕資源を有効に生かすために | - 49 |
| 4 | まとめ | - 55 |
| 4 - 1 | 使う人（買う人）のモラルを高めること | - 55 |
| 4 - 2 | 作る人のモラルは、使う人々が育て育む | - 55 |
| 4 - 3 | ハード（技術）的対処からハード（心）的対応へ | - 55 |